

## 東部教育事務所社教便り『社窓』



NO. 16

(平成23年12月)

### 「じんけんふれあいフェスタ」

安芸市矢ノ丸1-4-36 東部教育事務所

TEL : 0887-34-3591 (幾井)

FAX : 0887-34-3592 (大井)

E-mail : 310304@ken.pref.kochi.lg.jp

12月4日(日)に高知市の中央公園で第15回じんけんふれあいフェスタが開催されました。私たちの身のまわりにある様々な人権問題について、県民に関心を持ち、理解を深めていただくために、人権週間(12月4日~10日)にあわせて毎年開催しているものです。ここ2年間は県内4ブロックでの開催でしたが、今年は3年ぶりに高知市での開催となりました。当日は天気にも恵まれ、約8500人の来場者がありました。



光の村養護学校のみなさんの「光の村黒潮太鼓」の勇壮な演奏がステージのオープニングを飾りました。その後、ステージではよさこい鳴子踊りや「それいけ、アンパンマン」のショーや旭小学校吹奏楽部による演奏がにぎやかに行われました。

公園内では県内各地から関係機関やNPOが多様な20のブースを出展し、地元の郷土料理や物品の販売などを行いました。会場には休憩コーナーも設けられており、多くの家族連れがおいしそうに料理を食べながら、おしゃべりをする光景が見られました。

こども広場ではヨーヨーつりや木工クラフトづくり、バルーンアートなどが行われ、子どもたちに大人気でした。とくにバルーンアートのプレゼントにはとぎれることなく長蛇の列ができていました。

今年で人権キャラクター「人KENまもる君」が誕生して10周年です。「人KENまもる君」生みの親のやなせたかしさんから、人権が大切にされた社会実現にむけた熱い思いが込められたメッセージも披露されました。また、シエロクラブのみなさんが、いじめにあった女の子がダンスを通じた友情でいじめから立ち直っていく『大切なもの』というプチミュージカルを、パワフルなダンスで表現してくれました。

人権啓発に関わるパネルも展示されました。なかでも東日本大震災関連のブースでは、被災地の子どもたちの絵やメッセージの前で多くの来場者が立ち止まり、食い入るように見ていました。

ステージの最後では、フォークグループ「ふきのとう」の元メンバー、山木康世さんのコンサートが行われました。「風来坊」、「白い冬」、「春雷」などの往年のヒット曲を中心にギター1本で唄ってくれました。何か懐かしく、心がほっとするコンサートでした。



パネル展示もあった3月11日の東日本大震災では、避難した小学生が「放射能がうつる」といじめにあったとの事例も報告されました。これらの風評被害に関しては、福島県弁護士会が、会長名での声明文を出しています。その中で、今回の偏見や差別の問題が、「21世紀は人権の世紀」というキャッチフレーズのもと行われた国や地方公共団体及び各種団体の施策がいかに表面的なものであったことを実証している、という重要な提起をしています。同時に、人権問題の重要性について改めて考え、人権教育や人権啓発を充実させることも訴えています。

また、被災地で災害弱者の人権が十分に守られなかったことも報告されています。近いうちに起こるであろう南海地震に向けての防災対策についても、東日本大震災を教訓にしながら、人権の視点を持って、見直しを図らなくてはならないのではないのでしょうか。

(※ 福島県弁護士会長名の声明文は、県人権課のホームページにアップされています。)